

# 令和8年6月定例会

## 質問（質疑）要旨

### 一般質問（一括質問・一括答弁）

（1日目）

6月16日(火) 午前10時

（2日目）

6月17日(水) 午前10時

（3日目）

6月18日(木) 午前10時

高岡市議会

◎ 第1日目（6月16日）

- 1 水口 清志（同志会）……1
- 2 高木 敬介（新・高岡愛）……3
- 3 植野 佳奈（新・高岡愛）……5
- 4 熊木 義城（新・高岡愛）……7
- 5 山野井拓也（新・高岡愛）……8
- 6 田中 勝文（同志会）……9
- 7 上田 武（立憲民主・社民議員団）……11

◎ 第2日目（6月17日）

- 8 梅島 清香（同志会）……13
- 9 山上 尊士（公明党）……15
- 10 水越 進一（自民党無派閥会）……17
- 11 酒井 善広（同志会）……19
- 12 八田 一弥（高岡忍者会）……21
- 13 筏井 哲治（同志会）……22
- 14 中川加津代（Kirari-きらり-）……23

◎ 第3日目（6月18日）

- 15 塚本 政彦（新・高岡愛）……25
- 16 新開 広恵（公明党）……26
- 17 林 貴文（新・高岡愛）……27
- 18 本田 利麻（同志会）……28
- 19 石須 大雄（立憲民主・社民議員団）……29
- 20 高岡 宏和（同志会）……30

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 25   | 水口 清志 | 同志会 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 行政の継続性と意思決定プロセスについて</p> <p>(1) 本市では、市長選挙における民意の反映とともに、二元代表制の下で議会も市民の代表として重要な役割を担っているが、市として、市政運営における政治的判断と議会との関係をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 行政には継続性が求められるが、市として、政策の継続と見直しのバランスをどのように考えているのか。</p> <p>(3) 行政の意思決定にあたり、附属機関や各種市民会議の答申や提言をどのように位置づけているのか。</p> <p>(4) 附属機関や各種市民会議の答申や提言を踏まえ策定され、予算措置等も講じられている市の計画や方針について、大きな見直しや方向転換を行う場合、どのような手続や説明を経て決定すべきと考えているのか。</p> <p>(5) 旧ダイエー跡地について、市はこれまで、「高岡市の今後のまちづくりにとって大変重要な土地」と整理していると考えているが、現在の認識は。また、当該土地の取得に至った経緯は。</p> <p>(6) 検討過程にある市の計画や方針に対し、市民や関係団体等から異なる意見が出た場合、どのように合意形成を図るのか。</p> <p>(7) 市長就任後、これまでの計画や検討結果と異なる方針が示されているが、そうした判断は市長個人の政治判断として行われたものなのか、それとも組織として十分な検討を経た上での判断なのか。</p> <p>(8) 行政がこれまで説明してきた内容と、その後の方針や施策との間に差異が生じた場合、どのように整合性を図り、市民や議会への説明責任を果たしていくのか。</p> <p>(9) 高岡の未来に期待を持てるまちづくりを進めるためには、市民・議会・行政の信頼関係が重要であると考えているが、どのような考えのもとで市政運営を進めていくのか。</p> <p>2 地域経済への対応について</p> |     |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>(1) 物価高騰等の影響により市民生活の厳しさが続いているなか、市内では企業の倒産が増加しているが、市として、現在の地域経済の状況をどのように認識しているのか。</p> <p>(2) 市民生活を守るためにも地域経済の活性化を図る積極的な支援が必要では。</p> <p>(3) 国の補正予算成立や中東情勢等の影響を踏まえた本市の対応は。</p> |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属   |
| 4    | 高木 敬介 | 新・高岡愛 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 安全・安心なまちづくりについて</p> <p>(1) 高岡断層の調査について</p> <p>① 現在に至るまでの国及び県への要望状況と要望内容は。</p> <p>② 市独自に実施することを検討していない理由は。</p> <p>(2) 自助・共助による防災を推進すべきと考えるが、見解は。</p> <p>(3) 避難生活環境の改善を図るための取り組みと資機材等の配備予定は。</p> <p>2 上下水道事業の経営について</p> <p>(1) 物価高騰の影響について本市の課題は。</p> <p>(2) 当年度純利益の推移と今後の予測、赤字となる場合に想定される財源確保の方法は。</p> <p>(3) 上下水道事業への興味関心を市民に持ってもらい、理解を得ていくための今後の取り組みは。</p> <p>3 障がい福祉サービス等の効率化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>障がい福祉サービス受給者証の交付に至るまでの手続きについて、子どもの保護者の負担軽減を図るべきと考えるが、現状と今後の課題は。</li> </ul> <p>4 ひきこもり相談支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひきこもりについて相談できる場所を記した、高岡市お悩み支援マップ作成の成果と、サポートの充実に向けた今後の取り組みは。</li> </ul> <p>5 学校における施設等整備について</p> <p>(1) 小学校と中学校のプールの利用について、各学校の利用状況と傾向は。</p> <p>(2) 学校の授業における民間プール活用の本市の考え方は。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>(3) 本市の小学校と中学校にあるプールに貯めている水について、消<br/>防機関としての必要性は。</p> <p>(4) 学校に配備されている教職員用の端末について、現状の課題と今<br/>後の対応は。</p> |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属   |
| 5    | 植野 佳奈 | 新・高岡愛 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 市長就任1年を振り返っての思いは。</p> <p>2 高岡市土地開発公社による旧ダイエー跡地購入について</p> <p>(1) 当時の市長は、市長就任後に土地所有者との直接的な意見交換を行なったと述べているが、いつ、どのような形で、何回意見交換が行われたのか。また、その際、立ち会った職員の役職は。</p> <p>(2) 令和6年12月定例会から翌年3月定例会にかけて、議会における数件の質問と答弁のみで土地の取得を進めたと同時に、3月初旬には政治団体から取得に関する要望書も提出されていることについて、事前に議会や当該政治団体に対して市側から情報提供した事実はあるのか。</p> <p>(3) 公社理事会では、不動産鑑定評価額及び契約書と付属の重要事項説明書の説明はあったのか。</p> <p>(4) 先の説明を受けて、公社理事会内ではどのような議論があったのか。</p> <p>(5) 公社による借入はどのような目的で、いつ申し込まれ、いつ実行されたのか。</p> <p>(6) 公社による融資申請、土地所有者との契約締結、支払実行を、約1ヶ月という短期間で進めたのはなぜか。なぜ令和7年3月31日に契約及び支払いをする必要があったのか。</p> <p>(7) 土地の取得価格である8.6億円は、土地所有者の提示金額なのか、市と土地所有者との価格交渉の末に決まった金額なのか。また、この金額は市で妥当かどうか検討するとされていた、土地所有者が提示した売却下限額なのか。</p> <p>(8) なぜ、一般的に参考とすべきとされる土地の鑑定評価額ではなく、それを1.17億円も上回る8.6億円で契約、購入したのか。また、土地の取得価格についての最終判断は誰が下したのか。</p> <p>(9) 「財産の交換、譲与、無償貸付け等に関する条例」の一部規定を、土地の取得価格の妥当性を判断する際の参考にしたことは妥当な判断だったのか。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>(10) 明確な目的がないまま、不動産鑑定額を1億円以上上回る価格で、当時、当該土地の取得に至った判断は、市民の理解が得られないのでは。</p> <p>(11) 高岡市土地開発公社業務方法書には、土地の取得価格の基準に関する規定が存在しないため、新たに取得価格基準条項を設けては。また、用途の定まらない土地の取得については慎むべきと考えるが、見解は。</p> <p>(12) 毎年6月定例会に、土地開発公社の事業計画及び決算書類の提出は行われているが、その公的性格に鑑みれば、広く市民に対し積極的に情報公開するべきと考えるが、見解は。</p> <p>(13) 土地の先行取得の必要性がかつてほど高くない現在において、中長期的には高岡市土地開発公社の解散も検討する必要があると考えるが、見解は。</p> |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属   |
| 9    | 熊木 義城 | 新・高岡愛 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 新総合体育館の整備について</p> <p>(1) 総合体育館の整備に向けて取り組むとした思いは。</p> <p>(2) 重視する機能などの整備方針は。</p> <p>(3) 初期費用と維持管理コストを含め、財政への影響は。</p> <p>(4) 整備に向けた今後のスケジュールは。</p> <p>(5) 利用者や、関係者の声をどのように集め、体育館整備に反映していくのか。</p> <p>2 中心市街地活性化について</p> <p>(1) 御旅屋人マーケットの過去3年間の来場者の推移と今後の来場者確保のための取組は。</p> <p>(2) 高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」と御旅屋人マーケットを中心とした既存の取組をさらに連動させていくべきと考えるが、見解は。</p> <p>(3) まちなかまるごとマーケット化事業の今後の展開は。</p> |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属   |
| 3    | 山野井拓也 | 新・高岡愛 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 旧ダイエー跡地について</p> <p>(1) 今後の利活用に対する本市の考えは。</p> <p>(2) 方針決定をスピード感を持って進めるべきと考えるが、見解は。</p> <p>2 高岡駅瑞龍寺口の広場へ夜行の高速バスが乗り入れできるようにしては。</p> <p>3 まちかどトークについて</p> <p>(1) 現在の進捗状況は。</p> <p>(2) 各地区で出た意見や要望を今後どのような形で市政に反映していくのか。</p> <p>4 特殊詐欺対策について</p> <p>(1) 警察庁が推奨している詐欺対策アプリや、国際電話不取扱受付センターの周知をより強化すべきでは。</p> <p>(2) 市民への注意喚起のため、特殊詐欺多発警報のような取組みを本市でも行っては。</p> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 12   | 田中 勝文 | 同志会 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 上下水道事業の安定運営について</p> <p>(1) 人口減少に伴う料金収入の減少や物価高騰に伴う費用の増大など、経営環境は厳しいとのことであったが、令和7年度決算の見込み及び今後の収支の見通しは。</p> <p>(2) 老朽化が進んでいる水道管路や下水道管渠の更新をできるだけ早期に取り組んでは。</p> <p>(3) 昨年度末に示された次期上下水道ビジョンの骨子案では、料金水準の見直しや用途別から口径別料金体系への制度変更を検討するということがあったがその状況は。</p> <p>2 庄川流域の持続可能な環境保全について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岐阜県高山市六厩地区において産業廃棄物処理施設の建設が計画されていることから、関係自治体と連携し、情報収集や情報共有に取り組んでは。</li> </ul> <p>3 スポーツ・防災を見据えた公共施設の将来像について</p> <p>(1) 教育将来構想検討会議の答申やスポーツ施設活用・配置計画において位置付けられてきたサブアリーナ整備を見直すに至った経緯は。また、これまでの検討会議での議論や計画との関係をどのように受け止めているのか。</p> <p>(2) サブアリーナ整備の見直しについて</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>期待されていた全国大会等の開催についてどのように考えているのか。</li> <li>防災の観点から、周辺地域の住民の避難先についてどのように考えているのか。</li> </ol> <p>(3) 新たな体育館は、スポーツ施設としての機能だけでなく、交流人口の拡大や地域活性化、さらには次世代を担う子どもたちの夢や希望、市民のシビックプライドの醸成にもつながる重要な拠点と考えるが、見解は。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>4 身寄りのない方の不安の軽減や無縁墓対策の観点から、市営合葬墓の整備について検討すべきと考えるが、見解は。</p> <p>5 子どもの声を生かしたまちづくりについて</p> <p>(1) 子どもの声を大切にし、その意見を施策に反映していくため、どのような取り組みを進めていく考えか。</p> <p>(2) 子どもの声を尊重し、その意見を継続的に市政へ反映していくため、「こどもまんなか条例」の制定を含めた仕組みづくりを検討しては。</p> <p>6 高岡古城公園の魅力向上に取り組む中、観光客等の増加を見据え、安心して利用できる環境整備として防犯カメラを設置すべきと考えるが、見解は。</p> <p>7 高岡ブランドの向上について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市の地域活性化・認知度向上の観点から、ご当地ナンバー「高岡」の導入を検討しては。</li> </ul> |     |

|      |      |            |
|------|------|------------|
| 議席番号 | 氏 名  | 所 属        |
| 20   | 上田 武 | 立憲民主・社民議員団 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 市長就任から1年を迎えるにあたり、市政運営の評価と、今後の決意は。</p> <p>2 いのちと健康を守るための熱中症対策について</p> <p>(1) 関係機関と連携して、強力に推し進めてはと考えるが、見解は。</p> <p>(2) 学校現場において、児童・生徒を熱中症から守るための取組は。</p> <p>3 食糧費値上げに対する支援について</p> <p>(1) 住民税非課税世帯などに配付する1万円分のギフトカードの配付状況は。また、1日も早く届くようにしてはと思うが、見解は。</p> <p>(2) 食糧費値上げに対する、住民税非課税世帯や生活困窮者への支援策の充実を国に求めてはと考えるが、見解は。</p> <p>4 中東情勢の悪化による行政運営への課題について</p> <p>(1) 中東情勢の悪化が地域経済に及ぼす影響をどのように捉えているのか。また、地域経済の停滞を避けるための支援策を、県や国に求めている。</p> <p>(2) 高岡地区広域圏事務組合で作成されたゴミ袋が不足していると感じられるが、見解は。</p> <p>(3) 今後、高岡市民病院で手袋や注射器などの医療用資材の不足が危惧されるが、現状と対応は。</p> <p>5 部活動の遠征等における移動手段について</p> <p>(1) 本市における、部活動の遠征等の主な移動手段は。</p> <p>(2) 今後、地域展開を見据えて、今回の事故から見えてくる課題は。</p> <p>6 平和教育の推進について</p> <p>(1) 本市における児童・生徒に対する平和教育についての取組は。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>(2) 富山大空襲展の取組について、子どもたちを含め、市民にどのように周知するのか。</p> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 11   | 梅島 清香 | 同志会 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 ギャンブル依存症による子どもの貧困防止対策について</p> <p>(1) 児童手当の受給者を定める児童手当法における「児童の生計を維持する程度の高い者」について、その判断は市町村に委ねられているが、本市の受給者決定の判断基準は。</p> <p>(2) 児童手当の受給者名義について、ギャンブル依存症の夫名義の口座から、妻名義の口座に変更を行う場合、どのような要件を設けているのか。</p> <p>(3) ギャンブル依存症により受給者変更を行う場合、離婚の意思表示及び別居による住民票の異動は必須か。また、その確認方法は。</p> <p>(4) ギャンブル依存症やDVが併存する場合について、児童手当の受給者変更に必要な書類と手続きを、具体的に市民に伝えては。</p> <p>2 市民の暮らしを守る取り組みについて</p> <p>(1) 物価高対策について</p> <p>① 現在実施している高岡市プレミアム付デジタル商品券について、応募者数とその年齢層の傾向は。</p> <p>② デジタル商品券に関しての本市の考え方は。</p> <p>③ 施策の効果と課題点は。</p> <p>(2) 剪定枝回収リサイクル向上実証実験について</p> <p>① 現状と見えてきた課題は。</p> <p>② 今後の展開は。</p> <p>3 市庁舎整備における意思決定過程について</p> <p>(1) いつ、どのような資料や説明に基づき、どのような検討内容で、ロードマップの白紙撤回に至ったのか。</p> <p>(2) 旧ダイエー跡地について、今後どのように活用策を検討していくのか。</p> |     |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>(3) 市長会見では旧ダイエー跡地が有力候補地であるとの印象を受ける発言があった一方で、総務文教常任委員会では特定の候補地に決定したものではないとの説明がなされている。この認識の違いはなぜ生じたのか。</p> <p>(4) 旧ダイエー跡地の土地購入に係る経緯について、5月27日のテレビ取材で「分かりません。そこは私の方では分かりません。」と発言があったが、どのように情報共有を図ってきたのか。</p> <p>(5) 市庁舎整備を進めるにあたり、市民意見・耐震性・防災機能・財政負担・都市政策の観点を重視して判断すべきと考えるが、見解は。</p> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 7    | 山上 尊士 | 公明党 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 クマ対策について</p> <p>(1) 本市のクマの出没状況と出没した際の対応状況は。</p> <p>(2) クマの捕獲等を担う方々の高齢化や人材不足について、今後どのように対応していくのか。</p> <p>(3) AI カメラの活用状況は。また、クマ対策に ICT 等の先端技術を活用してはと考えるが、見解は。</p> <p>2 子育て環境の充実へ向けて</p> <p>(1) 放課後児童クラブ人材育成支援連携事業について</p> <p>① 実施状況は。</p> <p>② 本事業の実施により得られた成果と見えてきた課題は。</p> <p>(2) 地域の子ども達を地域で見守っていく居場所づくりが重要と考えるが、見解は。</p> <p>3 防災対策について</p> <p>(1) 防災気象情報のリニューアルについて</p> <p>① 防災気象情報がリニューアルされたことに対する本市の受け止めは。</p> <p>② 防災気象情報がリニューアルされたが、市民への周知も含めた今後の対応は。</p> <p>(2) 避難所について</p> <p>① 令和6年能登半島地震発災以降に避難所の生活環境で改善が図られた点は。</p> <p>② 令和6年能登半島地震の際の避難所の開設・運営面での課題は。また、その解決に向けた取り組み状況は。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>③ 今後、指定避難所でもある学校の統廃合により、避難所の収容人数が減ってくることが想定されるが、本市としてどのように対応していくのか。</p> <p>(3) 福祉の視点を取り入れた防災対策について</p> <p>① 令和6年能登半島地震発災時の福祉避難所における課題は。また、その解決に向けた取り組み状況は。</p> <p>② 福祉避難所への直接避難について</p> <p>ア 福祉避難所への直接避難には、どのような課題があるのか。</p> <p>イ 個別避難計画の策定状況は。また、今後更なる作成の推進へ向けてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(4) 誰一人取り残さない防災対策について、本市の目指すべき姿は。</p> |     |

|      |       |         |
|------|-------|---------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属     |
| 2    | 水越 進一 | 自民党無派閥会 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 運動会のあり方と熱中症対策について</p> <p>(1) 本市の運動会の目的は。また、「令和の時代」において、運動会がもつ教育的意義を子どもたちにどのように伝えているのか。</p> <p>(2) 本市における競技数や開催時間の基本的な考え方は。また、運動会の練習（準備）時間と他の教科時間をどのように工夫し、バランスを保っているのか。</p> <p>(3) 運動会を通じて協調性や達成感を得られるよう、学びの質や体験の質を向上させるためどのような工夫がなされているのか。</p> <p>(4) 運動会において学校、家庭、地域がさらに一体となる機会を創出する取り組みを検討しては。</p> <p>(5) 熱中症対策として、睡眠時間の確保、朝食の徹底、暑熱順化等の体調管理の重要性を学校から保護者や子どもたちにさらに周知しては。</p> <p>2 不登校児童生徒への給食費対応及び支援について</p> <p>(1) 現在、本市において不登校となっている生徒の学校給食費の請求や支払いの実態は。</p> <p>(2) いわゆる小学校給食費の無償化が進む中、不登校の家庭や、民間のフリースクール等に通う家庭に対して、どのように経済的支援の公平性を担保するのか見解は。</p> <p>(3) 不登校等の家庭への経済的支援として、給食費の現金給付という対応方法があるが、多角的な支援・サポートの充実を検討しては。</p> <p>3 統廃合や小中一貫校整備に伴う備品の有効活用について</p> <p>(1) 学校の統廃合や小中一貫校整備に伴う、使わなくなった備品の管理方法や利活用の現状は。</p> <p>(2) 市が保有する財産の有効活用の観点から、保管されている備品を地域団体等に貸し出したり、市民向けのバザーや譲渡会を開催して有効に還元する仕組みづくりを検討しては。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>4 武道施設のあり方について</p> <p>(1) 古府小学校跡地への武道施設集約は、いつから検討がされ、具体的にどのような手段で関係団体との合意形成があり、発表に至ったのか。</p> <p>(2) できる限り早く県に武道機能の一時的な確保や財政的支援を正式に求めるべきと考えるが、いつまでに行うのか。</p> <p>(3) プレイヤーファーストの視点から、古府小学校跡地ではなく交通利便性が良いスポーツコアに武道施設を集約することが望ましいと考えるが、見解は。</p> <p>5 四屋地区の水害対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上下水道局で新たに導入される排水ポンプについて <ul style="list-style-type: none"> <li>① 排水能力やスペックは。また、具体的な効果は。</li> <li>② 運用方法は。</li> </ul> </li> </ul> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 18   | 酒井 善広 | 同志会 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 生成 AI 等の活用について</p> <p>(1) 国は、「自治体における AI 活用・導入ガイドブック」を公表し、行政・公共分野での積極的かつ安全な利活用を推進しているが、本市における生成 AI 活用の基本的な考え方は。また、活用の現状と今後の方針は。</p> <p>(2) AI 活用にあたり、「自治体における AI 活用・導入ガイドブック」に沿った安全対策が必要と考えるが、本市の対応は。</p> <p>(3) 本市が導入している「AI チャットボット」について利用数のこれまでの推移は。また、課題と今後の活用方針は。</p> <p>(4) 高岡市民病院における AI 活用の現状と今後の取り組みは。</p> <p>(5) 介護分野における深刻化する人手不足への対応の観点から積極的に AI 等を活用すべきと考えるが、見解は。</p> <p>2 まちかどトークについて</p> <p>(1) 実施した地区数は。また、いつまでに全地区を巡る予定なのか。</p> <p>(2) まちかどトークの目的である、市民との対話は実現できているのか。</p> <p>3 旧ダイエー跡地について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>旧ダイエー跡地を含む周辺地域のボーリング調査をすべきと考えるが、見解は。</li> </ul> <p>4 武道施設について</p> <p>(1) 公表された武道施設に対する方針は、どの様な議論・プロセスを経て決定されたのか。また、その過程で利用者団体や教育将来構想検討会議の意見をどのように反映したのか。</p> <p>(2) 武道施設整備を進めるのであれば古府小学校を含む周辺地域のボーリング調査をすべきと考えるが、見解は。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>(3) 本市として県営高岡武道館の継続利用について県とどのような協議を行っているのか。</p> <p>(4) 県営高岡武道館の利便性、継続使用を希望する利用者が多いこと、また古府小学校跡地での施設整備に係るコストの側面からも、県営高岡武道館を使用すべきと考えるが、見解は。</p> <p>5 教育行政について</p> <p>(1) 学習専用端末を利用した授業が行われている中、小学校低学年において紙ベースの教科書を求める動きがあるが、本市の対応は。</p> <p>(2) デジタル教科書の導入に対する本市の方針は。</p> <p>6 市民協働型地域交通について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内において導入されている市民協働型地域交通の運行状況と今後の見通しは。また、本市が進める「市民にやさしい公共交通」における位置づけは。</li> </ul> <p>7 熱中症対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本市のクーリングシェルター（指定暑熱避難施設）の設置状況と昨年の利用状況は。また、クーリングシェルターの指定を増やしていくべきと考えるが、見解は。</li> </ul> |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属   |
| 1    | 八田 一弥 | 高岡忍者会 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 本市のスポーツ施策にかける思いは。</p> <p>2 新総合体育館について</p> <p>(1) 意思決定プロセスを明確にする必要があると考えるが、誰が、どのように方針を決定したのか。また、今後の整備について、どのように決定していくのか。</p> <p>(2) 施設の建設・運営において、民間の資金力・企画アイデアを活用しては。</p> <p>(3) 特定の競技に特化した施設を整備すべきと考えるが、アイデアの公募、企業やスポーツ業界との情報交換を行っては。</p> <p>(4) 誰もがワクワクするような高岡の醸成のため、新総合体育館に期待する規模や機能について、市民の意識調査をしては。</p> <p>(5) 令和 13 年度の供用開始を目指しているが、拙速を避け、ビジョン構築のために十分な期間を確保すべきと考えるが、見解は。</p> <p>3 夜間照明や夜間利用について</p> <p>(1) 小中学校のグラウンド夜間照明について</p> <p>① グラウンド夜間照明を備えている施設数は。また、そのうち学校体育施設開放事業の対象となっている施設は。</p> <p>② LED 化の進捗は。</p> <p>③ こどもたちがグラウンド夜間照明を使用する際の利用料を減免しては考えるが、見解は。</p> <p>(2) 城光寺陸上競技場について、夜間も利用できるようにしてはと考えるが、見解は。</p> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 15   | 筏井 哲治 | 同志会 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新総合体育館の整備方針と新高岡駅周辺のまちづくりについて</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 新総合体育館の整備方針について、「オープンな議論のキックオフ」の真意と今後の合意形成の進め方は。</li> <li>(2) 整備方針への賛否を問う前に、白紙の段階から広く市民・議会・関係団体の意見を聞くべきと考えるが、見解は。</li> <li>(3) 新総合体育館をスポーツコアに整備する場合、立地特性を活かし、スポーツ利用にとどまらない多機能型の施設として整備し、地域経済の活性化につなげるべきと考えるが、見解は。</li> <li>(4) 新高岡駅を核とした周辺エリアのまちづくりのランドデザインをどのように描いていくのか。</li> <li>(5) 高岡テクノドーム別館の整備をはじめとする県の動きを踏まえ、新高岡駅周辺の駐車場のあり方について、県と協議、連携しては。</li> <li>(6) 新高岡駅周辺駐車場現況調査について、今夏に予定されるイオンモール高岡駐車場の有料開放の効果も合わせて調査すべきと考えるが、見解は。</li> <li>(7) 市営駐車場のスマートパーキング化及び官民連携による駐車場の有効活用について、検討状況と今後の方針は。</li> </ol> |     |

|      |       |             |
|------|-------|-------------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属         |
| 13   | 中川加津代 | Kirari-きらり- |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市政運営について</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 市長の選挙公約を市政運営の指針としてロードマップ化し、進捗度を示しては。</li> <li>(2) 高岡の未来に期待を持てるまちづくりを推進するため、本市の重要案件についてテーマを絞り込み、まちかどトークの2ターン目を行っては。</li> <li>(3) 高岡市教育将来構想検討会議のあり方について、市民から疑問の声が上がっているが、信頼性や公平性は担保されているのか。</li> <li>(4) 総合体育館整備について、メインアリーナの規模や機能の想定は。また、メインアリーナのみの場合とサブアリーナを併設した場合のそれぞれ予算規模は。</li> <li>(5) 将来的な財政負担の軽減や公共施設の集約化、防災機能の強化の観点から、防災拠点ともなりえる市庁舎を大型の避難施設として有効と考えられる総合体育館と一体的に捉え、スポーツコアで複合施設とし整備する可能性について検討しては。</li> <li>(6) 将来的な市庁舎整備の選択肢の一つとして、高岡市地方卸売市場を核に、行政機能、防災機能、物流機能を一体化した複合拠点として整備する可能性について、検討しては。</li> <li>(7) 旧ダイエー跡地の活用については、未来志向で考えていくとのことだが、いつまでに目途をつけるのか。</li> <li>(8) 旧ダイエー跡地の土地取得をめぐり、実際の購入額と不動産鑑定評価額に約1億2000万円の差異があったことが明らかになり、市民は強い不信感を抱いているが、市として説明責任を果たすべきでは。</li> <li>(9) 土地開発公社の在り方について、今後検討していく必要があるとしていたが、検討状況は。</li> <li>(10) 観光誘客の観点から、高岡古城公園磨き上げ事業を行なうとのことだが、経済効果の見込は。</li> <li>(11) 学校体育館の空調整備について</li> </ol> |     |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>① 策定中の実施ロードマップの公表時期は。</p> <p>② 近年の物価・光熱水費等の高騰により、施設維持に係る経費が上昇傾向だが、学校開放体育施設開放事業で空調を使用する場合の受益者負担は想定しているのか。</p> <p>(12) 新たに策定する高岡市認知症施策推進計画について、趣旨と取組の方向性は。また、認知症本人や家族の声をどのように反映し、認知症になっても安心して暮らし続けられる地域づくりをどのように進めるのか。</p> <p>(13) 令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、避難生活環境の改善を図るための避難生活用資機材の配置や輸送体制の考え方は。</p> <p>(14) 県内市町村間における広域避難や応援体制に関する取り組み状況と今後の方向性は。</p> |     |

|      |       |       |
|------|-------|-------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属   |
| 6    | 塚本 政彦 | 新・高岡愛 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 次期総合計画基本構想に込めた思いは。</p> <p>2 DX活用などによる地域課題解決について</p> <p>(1) イオンモール高岡駐車場のスマートパーク化による一般利用について、本市の受け止めは。</p> <p>(2) 昨年秋に期間限定運行されたスカイバス高岡の実績と反響は。</p> <p>(3) 観光誘客に効果がある XR バスの導入を検討しては。</p> <p>(4) 高速バス・夜行バス・観光バスのハブ機能として、旧ダイエー跡地を活用しては。</p> <p>(5) 次世代 EV バスの試験運行と路線バスの AI オンデマンド化の実証実験に期待することは。また、今後の公共交通のあり方は。</p> <p>(6) 民間の送迎バスとの連携により、交通空白を解消しては。</p> <p>(7) 市民協働型地域交通システムが導入されていない交通空白地帯に、助け合い型無償ライドシェアを導入しては。</p> <p>(8) 国土交通省の 3D 都市モデルについて、本市での導入の経緯と活用例は。</p> <p>(9) 国土交通省の 3D 都市モデルを活用した AR・VR の観光コンテンツを公募し、市民参加型の観光 PR を進めては。</p> <p>(10) 高岡城 AR を充実させ、高岡城跡の魅力向上を図っては。</p> <p>(11) AR・VR コンテンツを市内展開し、没入体験の機会を提供する周遊観光に取り組んでは。</p> <p>(12) 高岡観光ナビや観光パンフレットの多言語化の状況は。</p> <p>(13) 観光施設における案内看板に二次元コードを掲示し多言語化することで、インバウンド対応を図っては。</p> <p>(14) 観光施設等にデジタル投げ銭を導入して、市民や観光客の支援を各施設の運営や整備に役立てては。</p> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 8    | 新開 広恵 | 公明党 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 空き家対策について</p> <p>(1) 今年度実施される、市内全域の空き家等実態調査では、危険度や管理状況の把握が必要だと考えるが、調査内容は。また、調査結果を今後どの様に活用するのか。</p> <p>(2) 危険空き家対策について、たかおか空き家除却支援事業の利用状況と課題は。</p> <p>(3) 相続放棄等により所有者等が不明となった空き家についての現状と対策は。</p> <p>(4) 空き家利活用の相談において、空き家バンクの登録や成約に繋げるための取り組みは。</p> <p>2 地域医療の維持と看護人材確保について</p> <p>(1) 高岡医療圏における高岡市民病院の役割についての見解は。</p> <p>(2) 市内医療機関での看護人材の確保に向け、富山県高岡看護専門学校の120名定員を継続して確保するための本市の取り組みが重要と考えるが、見解は。</p> <p>3 グループホームについて</p> <p>(1) 認知症高齢者のグループホーム入所について、広域利用や自治体間連携をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 市内でのグループホーム整備や受け皿確保についての考えは。</p> <p>4 観光交流の推進について</p> <p>(1) 本市の観光誘客の増加に向けた思いは。</p> <p>(2) 今年度実施する観光客アンケート調査で得た結果をどのように活かしていくのか。</p> <p>(3) 本市の伝統民謡である「弥栄節」について、富山市八尾地域の「おわら風の盆」と連携し、観光振興や文化継承に繋げる取り組みを進めてはと考えるが、見解は。</p> |     |

|      |      |       |
|------|------|-------|
| 議席番号 | 氏名   | 所属    |
| 10   | 林 貴文 | 新・高岡愛 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 令和6年能登半島地震からの復興への取組について</p> <p>(1) 歴史的なまちの面影を残す建造物について、民間による利活用の動きもあるが、本市の復興や地域活性化の観点からどのように受け止めているのか。</p> <p>(2) 復興ベースの利用状況と今後の展開は。</p> <p>(3) 液状化被害宅地復旧支援事業のこれまでの状況は。また、今後の展開についての見解は。</p> <p>2 本市のアートの取組について</p> <p>(1) 高岡市美術館は本年開館 75 周年を迎えるが、この節目をどのような機会と捉え、どのような思いを持って記念事業を展開していくのか。</p> <p>(2) 高岡市美術館の事業について、地域イベントとの連携を強化し、美術館への誘客と地域イベントへの参加促進を相互に図ることで、交流人口の拡大や地域活性化につなげてはと考えるが、見解は。</p> <p>(3) 本市で育つ子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、「高岡市美術館」でアートに触れる機会の充実を図ってはと考えるが、見解は。</p> <p>3 新高岡駅周辺を含めた広域都市拠点のまちづくりについて</p> <p>(1) 本市のまちづくりにとっての新高岡駅周辺エリアの位置付けは。</p> <p>(2) 今後の総合体育館の取組を見据え、新高岡駅周辺のまちづくりを進めるべきと考えるが、見解は。</p> <p>4 共施設の維持管理コストの適正化に向けた取組について</p> <p>(1) 人件費や物価高騰によるコスト高が全国的にも課題となっているが、本市の公共施設の維持管理経費の推移は。</p> <p>(2) 持続可能な行政サービスの提供に必要な公共施設を維持していくため、各施設による管理経費節減だけでは限界があり、適正な使用料への見直しも必要と考えるが、見解は。また、今後の進め方は。</p> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏名    | 所属  |
| 22   | 本田 利麻 | 同志会 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 職員への対応について</p> <p>(1) 自宅待機している職員について、その理由と現状は。また、いつまで自宅待機を予定しているのか。</p> <p>(2) 長期間の職員不在による、業務執行や所属職員への影響は。</p> <p>2 新総合体育館の方針について</p> <p>(1) 新総合体育館整備の方針について、市民やスポーツ関係者の声をどのように受け止め、今後の計画に反映していくのか。</p> <p>(2) 凍結された過去の計画では、サブアリーナ併設の体育館と武道施設を一体的に整備する考え方が示されていたが、今回の方針では、最終形としてどのような施設構成を見込んでいるのか。また、その実現に必要な総事業費の見込みは。</p> <p>(3) 段階的整備としてメインアリーナの整備を進める考えを示しているが、大会開催機能を考慮した場合、サブアリーナを含めた一体的整備も検討すべきではないか。</p> <p>3 武道施設の方針について</p> <p>(1) 竹平記念体育館サブアリーナの整備は二重投資との見解を示しているが、古府小学校に武道施設を整備し、その後、新総合体育館に集約することは二重投資にならないのか。</p> <p>(2) 古府小学校に武道施設を整備することにより、武道人口の減少に拍車がかかる懸念があるが、見解は。</p> <p>(3) 県営高岡武道館を長期使用できるよう県に要望しては。</p> <p>4 市民に夢のある政策や将来像を示すべきでは。</p> |     |

|      |       |            |
|------|-------|------------|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属        |
| 19   | 石須 大雄 | 立憲民主・社民議員団 |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>1 土地開発公社の旧ダイエー跡地購入について</p> <p>(1) 公有地の拡大の推進に関する法律（公拡法）上購入できるのか。</p> <p>(2) 購入金額について</p> <p>① 理事にはどのような説明を行ったのか。</p> <p>② 購入金額の妥当性についてはどのように考えているのか。</p> <p>2 令和6年能登半島地震からの復興について</p> <p>・ 雨晴駅周辺・伏木地区おもてなしブラッシュアップ事業について</p> <p>① 受入態勢の充実とは具体的にどのようなことを行うのか。</p> <p>② 観光需要の喚起とはどのように行うのか。</p> <p>③ この取組を契機に、今後の復興はもとより、伏木地区が元気になる観光誘客を継続的に進めるべきと考えるが、見解は。</p> |     |

|      |       |     |
|------|-------|-----|
| 議席番号 | 氏 名   | 所 属 |
| 17   | 高岡 宏和 | 同志会 |

| 通 告 事 項  | 備 考 |
|--|-----|
| <p>1 公共施設の将来像と市政運営について</p> <p>(1) 公共施設に関する一連の政策変更は、市長が掲げた「プロセスの公開と慎重な議論」「市民との徹底対話」に照らして、どのように反映された結果なのか。</p> <p>(2) 本市は体育施設整備の方向性を示したが、この方針は、個別施設の整備方針ではなく、総合計画に基づく高岡市全体を見据えたものなのか。</p> <p>(3) 本市は、総合計画を市政運営のロードマップと位置付けているが、本市が保有する公共施設全体について、どのような優先順位と整備方針で進めていくのか。また、その整備方針にあたっての財政的根拠はどのように整理されていくのか。</p> <p>(4) 市長は議員時代、「公共施設については、長期的なグランドデザインを描いた上で整備を判断すべき」との趣旨の質問を行っているが、現在進められている公共施設の方針等については、当時の問題意識がどのように反映されているのか。</p> <p>(5) 市民の理解と納得を得るためには、個別施設ごとの議論にとどまらず、市庁舎、体育施設、文化施設等を含めた公共施設全体について、将来像、整備の優先順位及び財政見通しを明らかにしたロードマップを市民に示した上で議論を進めることが必要と考えるが、見解は。</p> <p>(6) 公共施設全体の方向性について、今後どのような形で市民との対話を進め、未来の高岡市の姿を共有していく考えなのか。</p> <p>2 市民の命を守るために必要な広域連携について</p> <p>(1) 住民の早期避難を受け入れるため、避難所の確保についてどのような考え方で取り組んでいるのか。</p> <p>(2) 令和7年12月定例会において、広域避難体制の構築に向けて、射水市と連携しながら協議を加速するとの答弁があったが、状況は。</p> <p>(3) とやま呉西圏域の広域防災連携事業において、どのような議論が行われているのか。</p> |     |

| 通 告 事 項   | 備 考 |
|---|-----|
| <p>(4) とやま呉西圏域における防災力向上に向けて、本市はどのような役割を担い、どのようなリーダーシップを発揮していくのか。</p> <p>(5) とやま呉西圏域の取り組みにおいて、今後どのように連携を高めていくのか。</p> |     |